

LINE 依存傾向に友人関係における感情的側面が与える影響

—LINE 依存傾向尺度の作成を通じて—

15004PCM 大屋 妃栄

問題と目的

LINE とは、無料メールアプリサービスである。特にキャリアメールとは異なる特徴的な点が既読機能である。携帯メールは他者と文面のやりとりをする機能であり、この携帯メールと LINE は同様な機能をもつことから、携帯メールと LINE には関連があると考えられる。

西村・遠藤(2012)は、友人関係のありよう(特に負の感情)がその気持ちを増大させ、結果的に携帯電話を手放せなくなってしまうと指摘している。種村(2015)は、既読無視によって不安や心配などを感じたり、気になったりするということ意見が得られている。吉田・高井・元吉・五十嵐(2005)の研究では携帯メール依存尺度のすべての尺度得点において、男性より女性に依存度の得点が有意に高いという結果が得られている。

本研究では、「寝食をおろそかにして LINE のやりとりにのめり込んだり、やりとをやめられないと感じるなど、心理的・行動的症狀が生じ、LINE に精神的に依存した状態」と LINE 依存を定義し、研究 1 で LINE への依存傾向を測定するための LINE 依存傾向尺度を作成する。続いて、研究 2 では LINE 依存傾向に友人関係における感情的側面が与える影響を検討する。

研究 1

(1) 目的

大学生を対象とし、LINE 依存傾向を測定する尺度の作成を目的とする。

(2) 方法

LINE に関する項目を収集するため、大学生 106 名(男性 30 名、女性 76 名)に対して質問紙による調査を行った。質問紙は次のような構成とした。LINE 利用に関する質問として、「1.LINE を利用しているか」「2.LINE で利用している機能」「3.LINE のやりとりの回数が多い相手」の 3 項目。「1. あなたが LINE を利用

していて依存していると感じるのはどんなときですか」「2. あなたが LINE を使っていて不安になるのはどんなときですか」「3. LINE のトークができなくなると困ることはどんなことですか」「4. 他の人が LINE に依存しているように見えるのはどんなときですか」の 4 項目。フェイスシート：年齢、性別、大学名、学部、学年を問う。KJ 法を用いて、4 人の評定者で内容を分類し、整理した。

(3) 結果と考察

LINE とトークの利用率は共に 100%と高く、大学生において LINE は日常の連絡手段として使用されているとわかった。また、LINE のやりとりの相手として、家族よりも友人と連絡を取り合っていることがわかった。LINE 項目の収集では、58 項目からなる LINE 傾向尺度を作成した。回答全体を通して既読機能に関する回答が多かったことから、LINE 独自の既読機能に関する質問項目が得られた。

研究 2

(1) 目的

作成した LINE 依存傾向尺度を因子分析し、再度検討し、LINE 依存傾向に対して友人関係における感情的側面が与える影響を検討する。

(2) 方法

大学生 263 名(男性 61 名、女性 202 名)に対して質問紙による調査を行った。質問紙は次のような構成とした。LINE 依存傾向尺度(研究 1 において作成)、友人に対する感情的側面尺度(榎本, 1999)、フェイスシート：年齢、性別、大学名、学部、学年を問う。

(3) 結果

研究 1 で、項目分類をした 58 項目に対して、因子分析を行った結果、30 項目が得られた(Table1)。LINE 依存の特徴として、LINE を理由に携帯やスマートフォンを手放せない「過剰な

LINE 利用」, 既読やメッセージに対しての不安や心配など負の感情を感じる「既読に対する不安・心配」, すぐにメッセージの確認や返信をする強迫的な「メッセージへの迅速な反応」の 3 側面が確認された。各因子の内的整合性は高く ($\alpha = .75 \sim .89$), 各因子間には相関 ($r = .22 \sim r = .43$) がみられた。友人に対する負の感情的側面は LINE 依存傾向と関連 ($r = .502, p < .001$) が見られた。「不安や懸念」は, LINE 依存傾向尺度の中の「既読に対する不安・心配」と関連 ($r = .617, \beta = .594, p < .001$) が比較的強くみられた。友人関係にライバル意識を比較的強く感じる学生ほど, 不安や心配を感じやすく ($r = .520, \beta = .111, p < .001$), 独立を感じる学生ほど, 不安・心配を感じていなかった ($r = -.372, \beta = -.113, p < .001$)。女性 ($M = 80.56, SD = 17.92$) は男性 ($M = 74.22, SD = 15.26$) よりも LINE 依存傾向があった ($t(256) = -2.466, p < .05$)。

(4) 考察

「過剰な LINE 利用」「既読に対する不安・心配」「メッセージへの迅速な反応」の LINE の特徴を表す 3 側面が確認された。これらの下位尺度の内部一貫性は保たれており, 内的整合性を有していることが示され, 尺度として十分に信頼できることが分かった。

友人に対する負の感情的側面は LINE 依存傾向と関連が見られることがわかった。仁尾他 (2009) では, 友人との関係に「不安や懸念」「葛藤」を強く感じる大学生ほど, 携帯メール依存

が強いという結果を示している。友人から疎外されるのではないかと不安や懸念を感じている学生ほど, LINE に対して不安を引き起こしやすいことがわかった。その背景には, 榎本 (1999) による研究で「不安・懸念」は, 自己と他者とが結びついているという観点で, 特定の他者との協調的な関係を持ちたいと考え, その関係が持てるかどうかを意識することから生じる不安と考えられているとあるように, 対人関係に対しての強い不安があるのではないかと考えられる。友人関係にライバル意識を比較的強く感じる学生ほど不安や心配を感じやすく, 独立を感じる学生ほど不安・心配を感じないという結果から, 「不安・懸念」は他人に肯定的受容を望むがゆえに不安を感じる感情と榎本 (1999) にあるように, 「不安・懸念」を意識することで「ライバル意識」「葛藤」を感じ, 反対に「独立」は友人関係に対して肯定的であり, 「不安・懸念」を感じにくいのではないかと考えられる。

そして, 吉田他 (2005) の研究では, 携帯メール依存尺度の「情動的な反応」「過剰な利用」「脱対人コミュニケーション」の全ての尺度得点において, 男性より女性に依存度の得点が有意に高いという結果が得られているように, 女性は男性よりも LINE に依存しやすい傾向があった。

本研究の問題点と今後の課題としては, 収集した項目だけでは内容に偏りがあることが考えられ, LINE 依存傾向の尺度として足りない項目を補充, 検討していく必要があるだろう。

Table 1 因子分析結果

		I	II	III
I. 過剰なLINE利用				
41	歩きながらLINEをすることがある	.729	-.048	-.162
26	授業中でも気になってLINEを開く	.713	-.049	-.005
19	メッセージのやりとりを1日に20件以上する	.688	-.066	-.139
50	LINEでやりとりをしている時, 気づくと長時間経っていることがある	.680	.115	-.026
33	何時間も続けてLINEのやりとりをすることがある	.620	-.040	-.012
42	食事をしながらLINEをすることがある	.572	-.083	.068
43	友人といえるにもかかわらず他の人へのLINEの返信をしてしまう	.567	-.047	-.096
18	LINEのやりとりをしていて生活(お風呂, 食事など)が後回しになる	.566	.174	.027
37	LINEのやりとりをするためにトイレやお風呂に携帯をもっていく	.563	-.045	.129
29	無意識のうちにLINEの画面を開く	.537	.063	.190
30	暇なとき, すぐにLINEを開こうとしない	-.533	.091	-.239
11	用事がなくてもメッセージを送ってしまう	.503	-.008	.072
3	電車に乗っているときにLINEを送ることがある	.493	.014	-.289
5	常に誰かとLINEのやりとりをしていないと落ち着かない	.491	.211	.121
36	会って話せばいいことをLINEのメッセージで済ませる	.444	.024	-.006
II. 既読に対する不安・心配				
17	自分が送ったメッセージによって, 相手が不快になっていないか不安になる	-.086	.761	-.160
15	未読, 既読に関わらず送ったメッセージに対して返事が来ないと不安になる	-.030	.722	.026
16	急にメッセージのやりとりが止まると不安になる	-.030	.692	.054
39	送ったメッセージに既読がついたが, 返事が来ないとき不安になる	-.044	.691	.025
2	送ったメッセージに, 既読がついているか気になる	.075	.636	-.029
23	送ったメッセージが正しい意味で相手に伝わっているか不安になる	-.023	.587	-.114
13	送られてきたメッセージの文面から相手の気持ちがわからず不安になる	-.029	.585	-.090
1	既読無視をされるとイライラする	.040	.572	-.034
34	送ったメッセージに, 返信が来なくても心配にならない	-.002	-.541	-.173
12	送ったメッセージに, 既読がついていない時, 既読がついているか何度も確認する	.204	.539	.080
21	送ったメッセージに既読がつかないと, メッセージが送れているか不安になる	-.074	.405	.150
III. メッセージへの迅速な反応				
27	相手からのメッセージに, すぐに返信する	.034	-.151	.771
22	メッセージが来てもすぐに返信しなくてもよいと感じる	-.178	-.105	-.659
20	相手からの返信に対して早く返信しなければならないと感じる	-.066	.123	.607
28	相手からのメッセージの通知や着信があると, すぐにLINEを確認する	.157	-.068	.596